

くにさき うさ 国東半島宇佐地域世界農業遺産推進協議会

次代へ繋げよう！世界農業遺産の輪



ブランド認証米

小学生向け教材本による啓発

田染荘を散策するモニターツアー参加者

ブドウ生産者にインタビューする高校生

取組概要

- 平成25年5月「世界農業遺産」として認定を受けた後、「次世代への継承」「地域の元気づくり」の2つを柱に取り組む。
- 「次世代継承」として、小学生には教材本配布や作文コンクールを。中学生には、生産者等を講師とする授業や「中学生サミット」を。高校生には、生産者ヘインタビューを行う取組等を実施。
- 「元気づくり」として、都市圏の方を対象に、しいたけ収穫体験などのモニターバスツアーの実施や品質にこだわったブランド認証制度を推進。

活動成果

- 世界農業遺産の認定により、住民が自らの地域に誇りを持つきっかけとなり、ウォーキングコースの開発や、廃校を活用した農村博物館の整備など、地域おこしが進展した。
- 小・中・高校生への次世代継承教育により、身近な農林水産業について見直す機会となっている。
- モニターバスツアーでは、「各所で十分な説明があり理解が深まった。」等の感想が寄せられるなど他地域との交流促進に繋がっている。またブランド認証米の販売量が増加している。

大分県 農林水産部 農林水産企画課
大分県大分市大手町3-1-1

Tel :097-506-3525 Fax :097-506-1757

うちなり

内成の「棚田とむらづくり」を考える会

日本の原風景が語る内成棚田の魅力とパワー



耕作放棄地にコスモスを植栽



交流宿泊施設「ホリデーハウス」

地元大学と連携した稲刈り体験

取組概要

- 古民家を改修し、長期滞在型の交流宿泊施設（「ホリデーハウス」）を整備。地元の大学と連携して管理・運営。
- 会員の共同作業で遊休農地に水稻やプラム等果樹を栽培。「内成棚田米」のブランド化に取り組むとともに、収穫した果実はジャムに加工。
- 観光客誘客に向け、展望箇所へのベンチ等の設置のほか、駐車場を整備。また、耕作放棄地を復旧し、ヒマワリ・コスモス等の景観作物を植栽。

活動成果

- 「ホリデーハウス」は年平均50人程度の利用がある。また、利用者の中から1組が当地区に定住するなど定住促進にも大きな効果。
- 活動を通じて美しい棚田の景観保全の機運が醸成。これまで耕作放棄地を1.1ha解消。
- 訪れる観光客は年々増加し、季節によっては1日100人以上が訪れる。その結果、棚田を観光資源とした散策会や体験プログラムが活発化。

内成の「棚田とむらづくり」を考える会
大分県別府市大字内成太郎丸

Tel : 0977-25-6633 Fax : 同左

はまわ 浜の輪フレンド

ふるさと中津の食品を食卓に！



料理教室



ベタの一夜干しと鰻のすり身だんご



イベントでの鰻のだんご汁の提供

取組概要

- H17年に干物の製造・販売活動を行う加工グループとして発足。主に舌平目、ハモを主体とした加工品を開発。
- 加工品は地元の道の駅や、飲食店、県内のイベント等での販売の他、ネット販売も実施。
- 魚食普及として、学校給食への商品提供や、小中学校の児童や保護者を対象とした魚料理教室を開催。

活動成果

- 加工品を県内の品評会に出品。最優秀賞を受賞するなど高い評価を得ている。商品開発により販路が拡大し、会員の意欲が向上。
- 給食センターからの商品提供の依頼が増加。子供達が食べやすいように調理して提供し、好評を得ている。
- 小中学校に講師として呼ばれ、地元漁業や魚の話を行うなど、子供達の漁業への理解を深めている。

浜の輪フレンド

大分県中津市小祝525

Tel :0979-22-2103

Fax : 0979-22-6517

しんすいしき 進水式を推進する会

進水式の数負けん！基幹産業造船を観光に



多くの子ども達が見学



大行列の進水式当日

取組概要

- 造船会社が3社あり、進水式をきっかけにしたまちおこしに挑戦。交流人口とその滞在時間の増加を目指す。
- 進水式を見に来た観光客を、宿泊・食事・買い物・他の観光につなげるため、壮大な進水式をポスター、旗、のぼりなどでアピール。
- 進水式の動画や今後の日程をSNSで紹介。H28年は3社合計で19回の進水式があった。

活動成果

- この活動が、新聞、テレビ等の多くのマスコミで取り上げられ、佐伯市のPRに繋がった。
- 市内では当り前の存在の造船業に光が当たるきっかけになり、市民の見学が増え、口コミによって市外からの見学者が増えるといった好循環が生まれた。
- 市内の小中学生、幼稚園児の子供たちの見学も増え、職業としての造船へ関心を高めることができた。

進水式を推進する会
大分県佐伯市城下西町

E-mail : sik9.tohno@gmail.com

漁村女性グループめばる

ソウルフードごまだしで、佐伯に元気を！！



ごまだしと鯛味噌 佐伯市の郷土料理「ごまだしうどん」(左上)



女性の雇用を増やし、楽しくお仕事

託児付き魚料理教室

取組概要

- 郷土料理として衰退していた「ごまだし」の製造をH17年から開始。漁師が余った魚を焼いて、すりつぶし、ごまや醤油と合わせて作る保存食。
- うどんに載せるだけだった「ごまだし」を万能調味料として全国へ広めるべく、料理コンテストへの応募、レシピ集発行等により、その魅力を発信。
- 魚のさばき方から教える料理教室を開催。託児も設け、若い世代の食卓に魚料理が上るよう普及活動を推進。

活動成果

- ごまだしを瓶詰にして手軽に食べられるようにしたことや料理コンテストで表彰されたこと等で、その知名度が上がり、雑誌やテレビで取り上げられ、販売本数は初年度(H17年)の1,200本から、H28年には4万本まで伸ばすことができた。
- 過疎化が進んでいる町で、女性の雇用を増やし、高齢者にも簡単な作業を任せることで、働く場と生きがいを与えることができた。

漁村女性グループめばる

大分県佐伯市鶴見沖松浦1395-4

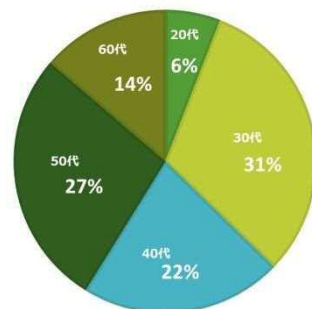
Tel :0972-33-0274 Fax : 同左

うすきツーリズム活性化協議会

臼杵時間、体感！プロジェクト



ワークショップ・ところてん作り



移住希望者モニターツアー参加者年齢構成



ワークショップ・蕁納豆作り

取組概要

- グリーンツーリズムや農泊は臼杵市野津地域を中心に推進されてきたが、市全域を対象に交流を促進するため、関係団体と行政が一体となり、各団体が行っていたイベント等をコラボさせ、新しい企画を実施。
- 臼杵市への移住希望者に農泊と日常の暮らしを体感してもらうモニターツアーや、うすきに暮らす人々が持ち合わせている生活の技や知恵を体験するワークショップを実施。

活動成果

- 移住希望者のモニターツアーは、H26年より毎年30人程度が参加。実際に臼杵市に移住した方は7組16名。移住後は「移住サポーター」や「農泊家庭」として、臼杵の魅力発信にも積極的に関わっている。
- ワークショップはH28年より竹細工、食、スツール作りなどをテーマに年10回程度開催。竹細工と布製品のコラボ商品の開発、ワークショップで学んだ料理の農泊での提供、新たなスツール商品の展開などに結びついた。

うすきツーリズム活性化協議会

大分県 臼杵市役所(市民生活推進課)

Tel :0974-32-2220 Fax :0974-32-2223

あわてばる 栗手原資源保全推進協議会

こころの故郷栗手原(かかし祭りをとおしての地域交流)



栗手原地区の景観



かかし祭り 保育園児表彰



かかし祭りの準備



かかし祭り 展示



花壇整備 ゆりの球根植え

取組概要

- H21より、高齢者から子ども達までの地域住民全体の交流を図るため、また日本古来の田園風景を守るため「かかし祭り」を始めた。
- 小学校・保育園や各種団体と連携を取り、かかしを毎年製作し、9月の1ヶ月間、農道脇に展示。優秀な作品の製作者には、地元で取れた米を副賞として配布。
- 景観形成では、植樹した「もみじと牡丹桜」の下刈りや剪定、農道の脇に花壇を作り、ゆりの球根を植栽。

活動成果

- 共同で活動することにより、美しい田園風景が守られ、地区内のコミュニケーションも図られている。
- 「かかし祭り」では、高齢者が保育園や小学校に出向き、かかし作りを指導するなど地域全体の交流が図られ、昔ながらの伝統も継承でき、また、地区外から見に来る人も毎年増えており、地域の活性化にも一役買っている。
- 多面的機能支払交付金を活用し地区全体で活動。この活動を通して後継者の育成を図りたい。

栗手原資源保全推進協議会
大分県臼杵市大字望月981

Tel :0972-62-4574 Fax :0974-32-2224

ぶんごたかし

豊後高田市グリーンツーリズム推進協議会

国東半島の農家民泊と日本文化でおもてなし



受入家庭との対面式



受入家庭と一緒に食事づくり



農業体験

取組概要

- 平成18年に、地域活性化や農家副収入の増加を目指し、市と農家7戸が主体となり、協議会を発足。学校教育旅行受入を中心に活動。
- 外国人の団体受入を実施。3～5名のグループに分かれてもらい、農家民泊で受入れ。受入家庭ごとのありのままの生活(農作業・食事・入浴)を体験。和太鼓体験、座禅体験等も希望に応じ提供。
- 言語は指さし会話ツールで対応。食事に関するアレルギー対応や食事文化、世界各国の宗教観等の研修を実施。

活動成果

- 外国人観光客は、平成29年は7団体、240人を受入見込み。農閑期にも実施できることもあり、副収入が増加。
- 地域の活動になじみのなかった人も和太鼓やそうめん流し体験など受入プログラムに参画する中で、地域が一つになり活気が生まれてきた。
- 今後はさらに外国人旅行者を呼び込むため、英語に対応したホームページやパンフレット等広報面での整備を行っていききたい。

豊後高田市グリーンツーリズム推進協議会
大分県豊後高田市新町989-1

Tel :0978-25-5805 Fax :0978-23-1870

「H29九州農政局むらの宝」に選定

The Japan Travel Company 株式会社

インバウンド観光で田舎の継続的な社会を創出



しいたけほだ木の運搬を手伝う海外からの修学旅行生



しいたけ農家と修学旅行生



畑を耕す社長

取組概要

- H23年設立のインバウンドを扱う旅行会社。インバウンド観光は美しい田舎の風景無くしては存在しないと、社会貢献活動(コミュニティプロジェクト)として、里山の整備、耕作放棄地の再利用を推進。
- 社員30名で、社長含む社員の3割が外国人。コミュニティプロジェクトに専従する社員やパートも存在。
- 海外からの修学旅行などを受入れ、農業体験を提供。日常に行われている、その時期の農作業体験を提供。

活動成果

- 地域のお年寄りが元気になった。外国人に慣れ英語が話せなくてもコミュニケーションを上手にとる姿が見られる。
- 農作業体験は農家の労力を軽減化。地域の女性で作るお弁当や食事、市運営の宿舎等なるべく利用することで地域に利益をもたらしている。
- 社員数は設立から約5年で4名から30名に増加。社員は全員IUターン者。人口減少の歯止めとなっている。旅行者や商談等で交流人口も増加。

ザ・ジャパントラベルカンパニー株式会社
大分県杵築市大田俣水529-1

Tel : 080-6447-5550 Fax : 0978-52-2139

ふか み

深見地区まちづくり協議会

地域の未来 地域で考え、地域で行動



小規模集落応援・過疎区域の沿道草刈り



しめ縄作り:道の駅で販売



ワンコインバイキング(居酒屋)

取組概要

- 集落機能の低下、PTA・老人クラブ等の活動も低迷する中、各団体が相互に協力して問題解決に取り組むため、H21年に当協議会を設立。
- 景観維持のため、史跡や名所の花壇の手入れ、沿道の管理ができなくなった地区への草刈の応援、耕作放棄地への牛の放牧を実施。
- 伝統文化継承のためのしめ縄づくり、神楽の復活。交流促進のための小学校文化祭と地域の祭りの合同化。

活動成果

- 少子・高齢・過疎のため、これまで個別団体だけでは難しかった活動も各団体が相互に協力することで、復活や継続への道筋を作ることが出来た。
- 大学生とのフットパス、郷土料理を主体としたワンコインバイキングも開催。当り前の景色や習慣、料理も地域外の人と交流を行うことにより「地域の宝」として再認識することができ、住民の自信へとつながっている。

深見地区まちづくり協議会(事務局:宇佐市地域交流ステーション内)

大分県宇佐市安心院町矢畑442番地2

Tel :0978-44-4544

Fax: 同左

いわさき

岩崎農地水環境保全組合

集落内へ水を入れない、入ったらすぐに出す



定期的な農地・水路等の管理状況

ため池を調整池として
活用のサイフォン工事

小学生の麦播・麦踏、収穫体験

取組概要

- 農業者の減少・混住化が進む中、農地・水路・農道等の草刈り・泥上げ作業は、「全世帯参加」を原則に実施。
- 集落は二つの河川に囲まれ、水害の回避が課題。雨量・水位データの分析を踏まえ、ため池の調整池としての活用、揚水ポンプを川への排水ポンプとして活用等増水時の対策を実施。
- 外来生物等の駆除、学校教育と連携した稲刈り、麦・大豆栽培の農業体験を通じた食育教育等も実施。

活動成果

- 農業者だけでは最小限の作業しかできなかったが、「全員参加」で活動を行うことで、多くの参加者が様々なアイデアを出し合い、広範囲に活動が出来るようになった。参加者(延人数)もH24年の476人からH28年には974人となり、活動の種類も増加。
- 防災・減災の取り組みで、水害に敏感な住民は、水路・農道・農地の保全・向上作業は水害対策であり、農業者・非農業者を問わず共通の問題として、取り組めるようになった。

岩崎農地水環境保全組合
大分県宇佐市大字岩崎701-2

Tel :0978-37-2559 Fax : 同左

おおのまち

大野町みどり広域協定

花の社会性が地域を変える



シバザクラの開花状況



防草シート設置状況



シバザクラの植栽

取組概要

- 大野町土地改良区が中心となって、農地・水・環境保全向上対策に取り組むため、平成19年に設立。
- 農地・水路の維持保全はもとより、地区内全域を対象にシバザクラを順次植栽。各集落は雑草処理を行い、防草シートを敷く。そして植栽は集落総出で実施することで集落の連帯感を醸成。
- 新たな活動として、傾斜畑にグリーンベルトを施し、道路側溝からの土砂流出を軽減。

活動成果

- 景観保全を図るだけではなく、農作業の中で大きく時間を要する草刈り作業の軽減につながっている。
- 地域の共同でシバザクラを植栽することによって、地域の連帯感が醸成されるとともに、シバザクラの管理の面で高齢者の生き甲斐となっている。
- 傾斜畑からの土壌流出率が軽減し、排水路の土の堆積も少なくなった。新たな補助金制度を活用して、周辺地にシバザクラを植栽し、集落内の結束が強化した集落もみられる。

大野町土地改良区

大分県豊後大野市大野町田中2600-4

Tel :0974-34-2723

Fax :0974-34-2722

あねさん工房株式会社

地味こそ地の味！ 里山からの贈り物



「あねさん工房」のパンフレットより



煮込んだ摘果かぼすのビン詰め



かぼす搾汁

取組概要

- 増加する耕作放棄地や少しの傷が原因で廃棄される大量のかぼすを有効活用するため、H21年に起業。
- かぼす園地100aの管理の引受、放棄地770aの購入・新植。青果の販売のほか、加工所を建設し、青果とならないかぼすや摘果かぼすを使った商品（かぼす果汁、マーマレード等）を開発。
- 商品コンクールへの応募など積極的に販路開拓。かぼす園の管理や加工品の生産で地域住民を雇用。

活動成果

- 耕作放棄地が減少。かぼす青果と加工品の生産量が増加。加工商品数量はH24年の1500kgからH29年には8500kgと約6倍増。現在の従業員は社員4名、パート10名であり、地域雇用にも貢献。
- 将来的には、従業員にかぼす園地の管理を任せ、技術習得と向上をはかり、「のれん分け」する予定。生産したかぼすは当社で買上げ、新規就農者を定着しやすくし、就農人口増で地域の活力向上を図る方針。

あねさん工房株式会社

大分県豊後大野市緒方町冬原832-3

Tel :0974-45-2928

Fax : 0974-45-2930

地域起こし協議会 文溪里の会

自然が生き、人が生き、地域が生きる文溪



世界農業遺産と名跡を巡るウォーキング

地域共同で作成した案山子

世界農業遺産を伝える農村博物館

取組概要

- 旧小学校区の全住民を構成員に、H24年設立。H25年の世界農業遺産認定を活用した地域づくりを推進。
- 地下水路（貫）、ため池、クヌギ林を活かしたウォーキング大会を春と秋の2回開催。参加者には地元食材を使った炊き込みご飯や猪汁でおもてなし。
- 「とみくじマラソン」の参加者の応援目的でコース沿道に案山子を設置した取組みが「案山子祭り」に発展。旧小学校校舎を活用して「農村博物館」を開館。

活動成果

- 先人たちが作り上げたクヌギ林とため池がつなぐ循環システムを正しく理解でき、その啓発・伝承の具体的な取組を通して、地域住民の結束が向上。
- 各種イベントに地域外からも多くの方が参加。交流人口が増加。
- 小・中学生もしいたけコマ打ち体験等に取り組む、地域の農業や自然に対する理解を深めている。昔の農具や大工道具等を展示した「農村博物館」も注目を集めている。

地域起こし協議会 文溪里の会
大分県国東市国東町富来2271-3

「H29九州農政局むらの宝」に選定

しちとうい くにさき七島藺振興会

貧乏草から長者草、埋もれた宝が地域を変える



世界農業遺産や地理的表示などの認証の積極的な取得



砂浜利用の原草干し「浜干し」



キューバからの視察

取組概要

- 畳の需要減、生産者の高齢化等により、産地消滅の危機を迎えた豊後特産の七島藺を地域産業として再生させるため、当会をH22年に発足。
- 七島藺の魅力を発信するため、物産展等のイベントに参加。メディアを通じてPR。「世界農業遺産認証品」の認証を受け、農水省の「地理的表示保護制度」の登録をH28年12月に取得。
- 砂浜を利用した原草干しを再現するなど七島藺を地域文化として継承。

活動成果

- 当会の活動により、七島藺が各種メディアに取り上げられ、U・Iターンでの後継者が現れ、伝統産業として見直されてきた。また、世界農業遺産の候補地や登録地から視察が増加。
- 今年度から「地理的表示保護制度」の認証を活用した高付加価値販売の取組も開始された。
- Uターン新規就農者の支援の機運が高まってきている等、七島藺の再生で地域の元気も取り戻されつつある。

くにさき七島藺振興会

大分県国東市安岐町富清3209番地

Tel : 0978-65-0800

Fax : 050-3444-2916

せんちょう む た 千 町 無田資源保全組合

高原の美しい田園風景を後世に



農道・水路の草刈り



クリムソクローバーの種まき

クリムソクローバーの開花状況

取組概要

- 平成19年、農業者をはじめ、地区の自治会、老人会、子供会、消防団、土地改良区等地域ぐるみで農業資源や環境の保全を目的に設立。
- 農道や水路の草刈り・清掃や、花の植栽などを地域全体で取り組むことにより、美しい農村を維持。
- 阿蘇・くじゅう国立公園内の美しい自然を背景に、農道沿いの約400mに水仙、約1kmにわたるクリムソクローバーなどの植栽で美しい景観を形成。

活動成果

- 農道の脇を除草し、花を植栽することで、美しい景観を地域の人や道行く人に楽しんでもらうことができている。
- 除草や種まき、手入れなど、地域ぐるみで取り組むことによって地域全体の雰囲気良くなった。
- かつては葎の茂った沼地。開拓者たちの努力で現在の美しい農村へと生まれ変わった。この農村風景を維持、形成していくために今後とも地域一体となって活動をしていきたい。

千町無田資源保全組合

大分県玖珠郡九重町大字田野2415番地576

Tel :0973-79-2804